

令和5年度 第3回狛江市基本計画推進委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月22日（火）午後7時00分～午後9時01分
- 2 場 所 狛江市役所 特別会議室
- 3 出席者 委員長 福島 康仁 副委員長 上田 英司
委 員 村上 裕章 委 員 河内 広樹
委 員 佐藤 慶 委 員 佐藤 淳哉
委 員 名古屋 信夫 委 員 水谷 成江
委 員 高橋 良典
事務局 富田政策室長 中村企画調整担当主査
大久保企画調整担当主事
- 4 欠席者 なし
- 5 議 事 1 評価対象施策A「地域コミュニティ・都市間交流の推進」の評価について
2 評価対象施策B「地域の防犯体制の充実」について
3 評価対象施策C「地域で暮らすための生活支援」について
4 その他

6 会議概要

- 1 評価対象施策A「地域コミュニティ・都市間交流の推進」の評価について
—事務局から説明—
- 【委員長】
事務局の説明に対する御意見等あるか。
- 【委員】
市民活動支援センターの活動、市民公益活動事業補助金について施策評価シートへの記載はどのようになっているか。
- 【事務局】
市民活動支援センターの活動は、地域コミュニティ活動の活性化に関するものだけでなく、広く市民活動など多岐に渡るものである。市民活動の中でも地域コミュニティの活性化に該当するものもあるが、全てが該当するものではない。
- 【委員】
活動団体の中には、狛江市をターゲットとしていない団体や地域コミュニティに属したくないといった意向の団体もあることから柔軟な対応が必要である。
- 【事務局】
市民公益活動事業補助金についても全てが地域コミュニティの活性化に関わるも

のではない。

【委員】

市民活動支援センター指定管理業務委託料は、全体の委託料であるか。

【事務局】

市民活動支援センター業務の中から地域コミュニティの活性化に係る部分だけを抽出することが難しいことから全体の委託料を示している。

【委員】

SDGsの該当について、ゴール9やゴール11が該当するのではないか。

【事務局】

SDGsの該当項目については、計画策定時に設定した項目となっていることから、該当項目の変更はできないが、SDGsの視点や取組について提言として取り扱うことができる。

【委員】

提言案については、一つひとつの手法ではなく、委員会として全体的なメッセージ的なものが必要だと思う。狛江市の特性として小さな団体が顔の見える関係で活動しているといった部分を捉えながら大きな視点で示した方がよい。

2 評価対象施策B「地域の防犯体制の充実」について

—事務局から説明—

【委員長】

事務局の説明に対する御意見等あるか。

【委員】

特定空家とはどのようなものか。また、空家によってどのように犯罪につながるのか。

【事務局】

特定空家は通常の空家とは異なり、倒壊の危険性のあるものや保安上危険となるおそれのあるものが該当し、市として指定するものである。空家があるということは人目がなかったり、樹木の繁茂等によって街路灯の明かりが届きづらくなったりすることにより、不安を感じる市民の方もいる。

【委員長】

実際に危険であるということに直結するわけではないが、体感治安が悪化するという作用がある。ごみが多い地域には犯罪が起きやすいというデータもあるので、体感治安が悪いところは犯罪が多い傾向にある。

【委員】

空家等一覧表について、近年対応がされていないようだが、いかがか。

【事務局】

詳細については情報がないため、担当課に確認する。

【委員】

マンションの建設等により、まちづくり条例等で小さい公園ができるケースがあると思うが、公園の場所が奥まっけていて、出入口が一つといった公園が市内に点在している。小さい公園については草刈り等が充分でなく、そういった物陰等に子供が連れ込まれてしまわないか不安を感じている。比較的大きい公園には防犯カメラも設置されていることから、大きな公園よりも小さい公園の方が防犯という観点では気になる。

【委員】

市内で事件が発生したときには防犯カメラの映像が活用されているのか。

【事務局】

警察より防犯カメラのデータ提供依頼がある。防犯カメラの設置自体は犯罪抑止効果として設置しているため、実際に犯罪捜査に活用されたか否かを指標とするのは難しいと思われる。

【委員長】

公園の整備をして、防犯効果を高めるといった取組はされているか。例えば、見通しをよくしたり、高齢者用の運動遊具を設置したり、アドプト制度による管理等が他自治体では行われている。

【事務局】

アドプト制度については、やっている公園もあるが、大きい公園での活動がメインになっている。

【委員長】

大きい公園で実施している取組を小さい公園にも広げていく等の提言はできるのではないか。

【委員】

小さい公園が多く、不審者等がいた場合には警察に連絡もするが、期待値が高い。親としても心配に感じている。自転車の盗難が多いと聞いた。駅周辺は駐輪場等が整備されているが、駅から離れると放置自転車を見る機会が多い。施策シートに記載されている以外に自転車盗難防止について、他の活動はやっているのか。

【事務局】

常時行っているわけではないが、現在は安心安全課で補助錠の配布をしている。

【委員長】

防犯カメラの設置は市が独自でやっているのか。

【事務局】

設置場所の相談等を行っている。

【委員】

町会での設置場所は町会判断となっている。防犯カメラ設置の方針のようなものがあると良いのではないか。

【委員】

町会設置の防犯カメラについて、警察へのデータ提供の流れはどのようになるのか。

【事務局】

町会設置のカメラについては、管理している町会長に警察から依頼を行う。

【委員】

町会ごとに管理しているということにより、警察へのデータ提供についてスピード感が違ってしまふ等、あるのか。

【事務局】

警察から依頼するときの流れが異なるため、多少のスピード感が異なってくることは考えられるが、あまりに違うのでどうにかしてほしい等意見は聞いていない。

【委員】

聞いた情報だが、町会側からの情報だと、警察からデータを見せてほしいというのが直接きているよう。防犯カメラはただ設置すればよいというわけではなく、個人情報に関係もあるので、なんでも見せるわけにはいかない。防犯カメラを設置するに当たっては、地域で了解をとらなければいけない。

【委員長】

昔ほどではないが、防犯カメラ設置はプライバシーの問題もあるため、設置を進めるだけで管理についても考えていく必要はある。

【委員】

特殊詐欺への対策として、自動通話録音機の設置以外に犯罪が起こる ATM 等で行っている取組はあるか。

【事務局】

みずほ銀行の ATM には注意喚起のメッセージが ATM 上に出たり、チラシの掲示等を行っている。

【委員】

決算額と一般財源の金額について、どのようにみればよいか。

【事務局】

事業全体の費用が決算額、そのうち市の一般財源がどの程度かを御確認いただくものである。

【委員】

決算額と一般財源の差額は特定財源だと思うが、特定財源をまずは使いきりその残りは一般財源を充当するという流れなのか。

【事務局】

事業ごとに異なるが、例えば事業を実施するに当たり、事業費の1/2補助等となることが多い。事業を実施すると決定し、その事業費の1/2に特定財源、残りの1/2に一般財源を当てることになる。

【委員】

性犯罪に関連したニュースで取り上げられているが、行政の対応については市として何か関わっているのか。

【事務局】

女性相談等で相談を受ける体制にはなっているが、ニュース等で取り上げられているものは

【委員】

特殊詐欺対策について、手口が巧妙なのはあるだろうが、被害にあってしまうのは受手側の問題があると思う。狙われそうな高齢者がATMに行かない等ができれば防げると思うが、事前に対象になりそうな高齢者へのアプローチはあるのか。

【事務局】

警察から情報提供があった場合には、自動通話録音機を設置する場合もある。特許取詐欺といっても全てがATMで振り込ませるものではなく、自宅に取りに来るパターンもあるため、特殊詐欺の電話そのものが入らないような態勢を取れるよう自動通話録音機の設定を進めている。

【委員長】

安心安全メールで周知しているとのことだが、LINE等は活用していないのか。高齢者の中には、コロナ禍でLINEを活用したため、メールは使えないがLINEは使えるという方もいる。

【委員】

住宅等補助制度、総括に入れた方がよいのでは。入れていないのは理由があるのか。総括でも触れたほうがよいと思う。

【事務局】

令和5年4月から開始した制度であるため、年度途中であるため、どのようなかたちであれば記載できるか担当課と調整する。

【委員】

強盗殺人事件について、狙われたことは該当の家に問題があったのか、又は防犯カメラ設置により防げるものなのか。

【事務局】

警察ではないため、事件の原因や詳細については不明だが、防犯カメラ設置により必ず犯罪は防げるものではなく、犯罪の起こりにくい環境をつくるという目的により設置するものである。

【委員】

防犯への取組として、かけこみ 110 番も行っていると思うが、施策シートの取組には入らないのか。

【委員】

私を知っている限りでは、PTA で周知等をしていて、かけこみ 110 番に登録されている場所がわかるようマップ状になっているものがあり、子ども達にもそれを見て確認するよう伝えている。学校それぞれで行っているためか、自分の地区はわかるが、他の地区についてはわからない。

【事務局】

詳細については情報がないため、担当課に確認する。

【委員長】

最小経費・最大効果の部分について、経費については記載があるが、効果についての記載がないため記載したほうがよい。

3 評価対象施策C「地域で暮らすための生活支援」について
—事務局から説明—

【委員長】

事務局の説明に対する御意見等あるか。

【委員】

特養、老健といった介護保険サービスの内容は含まれないか。

【事務局】

主に、地域包括支援システムの構築、多機関の連携、虐待対応、認知症高齢者の支援等の取組を扱う施策となっている。

【委員長】

認知症サポーター養成講座受講後はどうなるか。

【事務局】

サポーター講座修了者はステップアップ講座の受講資格を取得する。ステップアップ講座修了者に対しては、チームオレンジコーディネーターによるチームオレンジ結成に向けた呼びかけを実施している。市内では既に1チームが結成され、活動を行っている。

【委員長】

講座修了後、活動の場がないといった事例があるが、今回のチームオレンジについては、取組が始まり、既にチームも結成されていることから引き続き取組を強化していただきたい。

【委員】

こまほっとシルバー相談室について、2箇所の記事があるが、これが市内全ての

数値になるのか。

それぞれの数値に対して母数があった方がよい。

【事務局】

こまほっとシルバー相談室は、市内で2箇所であるため市内の全件数値である。
件数については、来所や電話相談等の幅広い取組を計上していることから総括的に比較することが難しい部分もある。

【委員】

在宅療養後方支援病床確保事業はショートステイ等の利用を想定されているか。

【事務局】

在宅で緊急的に医療的に入院が必要な場合に備えて慈恵第三病院においてベッドを確保しているものである。

【委員】

障がい者に対しては、1年に1回福祉手当に関する現況届が送られてくるが、高齢者については同様のものは、実施しているか。実施している場合は、状況の変化に気づくことができる。

【事務局】

状況について確認する。

【委員】

チームオレンジコーディネーターについて、総括に記載しても良いのでは。

【事務局】

施策評価シートに反映する。

【委員】

介護者の負担は増加すると思われるが、レスパイトの取組はどのようなものがあるか。また、孤独者へのアウトリーチが必要だと思われる。

【事務局】

介護者の会を実施しているが、アウトリーチについて確認をする。
コミュニティソーシャルワーカーを各地域に配置しているが、孤独者等への支援については課題が残る部分もある。

【委員】

高齢者に限らず、近隣トラブルや苦情といった案件や障がいに係る部分においても関連性があることがある。

【事務局】

重層的支援体制整備事業を推進しており、狛江という小さな市域の強みを生かして高齢者等に限らず、取組を実施している。

【委員】

認知症初期集中支援チームの取組も実施されているが、高齢者や介護者へのアプ

ローチでは、医療者の協力も必要であり、大きな病院や小さなクリニックとの連携も必要である。

4 その他

次回の開催日は、9月4日から6日までの間に開催したいと考えている。後日、日程調整を行い決定としたい。